



'05 FLSTSC

純正のブラック・パーツを生かし、全体的にシックにまとめられた。タンクのツートーン・カラーに合わせ、前後のフェンダーもペイントした

「もともと、'03年式のFLSTSCに乗っていたんです。やっぱり、レトロな雰囲気バイクに乗りたかったんです。そして2台目が、この'05年式のFLSTSCですが、雰囲気は同じなので違う車種という感じはしません。ただ、シンプルになったFLSTSCよりは、豪華装備のFLSTSの方が好きなので、サドル・バッグやフォグ・ランプをFLSTSCにも付けました。

そもそもこのバイクに興味をもったのは、私が高校生のころ、おやじがハーレーに乗っていたからなんです。そのイメージが残っていて、ハーレーに乗るなら当時のモノみたいな、今という旧車風のバイクに乗りたいたいと思っていました。そうすると、やはりスプリングがイメージにピッタリで。

2台もスプリングを所有しようと思った一番の理由は、家族のためかな……。私がハーレーに乗るようになったら、今度は高校生になる私の息子がバイクに興味を持ち始め、大型の免許を取るために教習所に通い出した。それで、将来息子が乗れば良いと思って、'05年式のFLSTSCを追加することにしたんで



純正タイヤは、サイドもブラック・ウォールだが、より旧車テイストを高めるためにホワイト・ウォールに変更。FLSTNのモノを流用した



エンジン・ガードは、ツーリングなどの際に、足を乗せられるタイプを選んだ。「これだと、長距離などでとってもラクなんですよ」



シートは、タンデムできるようにダブルに。FLSTN用を加工し、コンチヨを付けた。また後ろに乗る人のことを考え、大きめのバック・レストを取り付けた



ノーマルでは、サドル・バッグが付いていないFLSTSCだが、FLSTSモデルに付いていた純正品を探して取り付けました。色はボディ・カラーに合わせた赤



リア・フェンダーには、2台それぞれ自分のイメージに合ったエンブレムを付けている。'05年式は「バー・アンド・ワールド」と「イーグル」ロゴ・マーク



ハンドルは、知り合いから譲ってもらったFLSTC用の純正ハンドルを付けている。グリップや、スイッチ部分などはメッキ・パーツに変更した



走行中カーナビが見られるよう、知り合いの業者にステーやパイザーを製作してもらった。ナビは、クルマ用のボードブル・タイプで、簡単に取り外しが可能



「付けられる純正のメッキ・パーツは、ほとんど付けました」というだけあり、ベグやリンケージ、カバー類などは、すべてメッキ・パーツに変更した



カーナビ用のアンテナは、ナンバーの裏にスッキリと収まっている。走らない時はTVも見られるように、TV用のアンテナも取り付けられている



FLSTSのイメージという「ナンバー1」ロゴ・マークをリア・フェンダーに。2台とも使っているエンブレムは、ベルト用のバックルを加工したモノだ

スプリンガーが大好きで、2台も手に入れちゃいました!

FL系のスプリンガーを、なんと年式違いで2台所有するオーナーの吉田宏さん。こだわったそれぞれの愛車をを見せてもらいました。

Doctor Bob's Chart

3



取材協力○ハーレー・ダビッドソン・レイノボー (☎029-822-6666)

'03 FLSTS

こちらは100周年記念モデルということもあり、ノーマルのスタイルを崩さず、メッキ・パーツを存分に散りばめたカスタムが施される



す。とはいっても、息子専用というわけではなく、自分が同じFL系のスプリンガーで、違ったカスタムを楽しみたかったというのが、結局一番の購入理由だけれどね(笑)。

FLSTSは、100周年モデルで、カラーリングがシルバーを基調にしているので、メッキ系のパーツを使ったカスタムを。FLSTSCの方は、スプリンガー・フォークがブラックになったというところがあるので、ブラックをベースにシックなカスタムをしました。

また、シートをシングルとダブルにすることで、一人で乗りたい時と家内と二人で乗りたい時といったように、用途に応じて使い分けられるようにしています。息子が乗れるようになったら、シングル・シートの方を息子にやらせ、私達夫婦はタンデムで家族三人のツーリングに行けたらう最高に幸せですね。

やっぱりスプリンガーは、カスタムをしても、ヴィンテージっぽい雰囲気を残しながら、違ったスタイルを楽しむことができるのがいい。このバイクは、息子だけにとどまらず、いつかは孫へと引き継いでいってほしいですね」